

くすふれ愛だより

1月号

【編集発行】
 玖珠地区コミュニティ
 運営協議会
<http://www.kusu-community.jp/>
 【事務局】
 くすふれあいホール
 (玖珠自治会館)
 72-1511



新春のお慶びを 申し上げます



新年

あけまして
 おめでと
 う
 ございます



玖珠地区の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

旧年中はコミュニティ各種行事にご支援ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

昨年四月から玖珠地区では「自治委員会の会長」と「コミュニティ運営協議会の会長」は兼務することなく、新規約によりそれぞれの会長としてその役割につき、皆様方の温かいご指導の下にどうか職責を果たすことができました。

一点目は認知症を含む高齢者への介護予防・日常生活圏域ニーズ調査や老人家庭の調査。二点目は認知症の方への声かけ模範訓練の実施であり、また高齢者の声かけと支え合い。この二点はこれからの取り組みとなりますが、各種団体による組織とネットワークづくりがあるため行政には予算化して対応を望みます。

次には今後の問題として、我が町では中学校の統合が近づいており、玖珠地区においては、山浦中学校（現在休校中）と玖珠中学校が閉校となり、その跡地利用の問題について

玖珠地区の皆様方と協力を重ね、素晴らしい施設を残せるようお願いいたします。

昨年は各部会の方、女性部の方（おもてなしのころ）、そして多くの方のご協力をいただき、誠にありがとうございました。

玖珠地区コミュニティ運営協議会
 会長 工藤 重信



皆様方には、お健やかに初春をお迎えのことと存じます。今年がよい年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

昨年玖珠地区自治委員会会長としての役割につき、各種協議会・団体等の会議研修会に参加させていただき、多くの事を学ばせていただきましたありがとうございます。

一昨年の熊本・大分地震に続き、福岡・大分の豪雨や台風18号による各地の被害もあり、災害の激甚化や、社会環境の変化に応じて対策を講じて行かなければなりません。地域の状況にも目を配りながら計画を立てる事も大変重要ではないでしょうか。

また、今後は少子・高齢化により、小規模な自

治区が増加し、自治区の再編が課題となります。メリット・デメリットはありますが、核家族化の進行や独居老人世帯の増加等により、見守り活動ができず、安全で安心な暮らしができなくなりました。自治区はこうした「地域の人たちが助け合っていく」といった精神を共有し住みよい地域を築いていかなければなりません。

まだまだ多くの課題が山積していますが、皆様方のご意見やご協力をお願い申し上げます。

玖珠地区自治委員会
 会長 日隈 久美男

